

上里シルバーだより

会報第29号 (2018 年7月)

基

本

理

念

自主

シルバーを私たちの物としてかんがえます

自立

シルバーを私たちの力で育てます

共働

私たち会員は仲良く働きます

共助

私たち会員は互いに助け合います



公益
社団法人

上里町シルバー人材センター

TEL・FAX 0495-33-4231

会員入退会

平成 30 年 6 月 30 日現在

平成 29 年 12 月 31 日より増減

男性 142 人 3 人増

女性 62 人 8 人減

合計 204 人 5 人増

理事長就任の挨拶

立石洋行



このたび六月十六日の総会で理事長の要職を承りました立石洋行です。要職を担うにあたり責任の重大さをこの上なく感じております。

昨今、シルバー人材センターを取り巻く環境も厳しく、生き甲斐を感じる職

場・風通しの良い職場・楽しく働ける職場を目指しても、ややもするとないがしろにされがちなところがあります。共に声かけあって楽しく健康増進に寄与する職場づくりにシルバー会員全員のご協力をお願いします。

7月となり、毎日暑い日が続きます。シルバー人材センターに於いては、外作業が多く気温との戦いが続きます。健康管理には十分注意して作業に取り組んでいただきたいと思います。シルバー人材センターにとっては安全作業の構築が最重要課題です。自分の身を守るのは自分しかいけません。作業中はお互いの安全を確かめ、一人作業には特段の注意をはらって安全第一で勤めまし

よう。特に作業中の蜂などの急な飛び出しに注意・三脚はしっかりと固定して作業してください。過去に起きた多くの事故の要因がこのような処に隠されています。再認識・再確認して慎重に管理してください。

明るく楽しく健康で勤め、「第二の人生をおくれて良かった」といえる職場に共に邁進して行こうではありませんか。

終わりに、今年度役員の改選がありました。これまで以上にご指導ご鞭撻をたまわりますようお願い申しあげ、就任のあいさつとさせていただきます。

結びとなりますが今回ご退任されました花形前理事長様、斉藤前副理事長様、今井前理事様、長い間

シルバー発展の為に尽力いただきました誠にありがとうございます。関係各位には重ねてのご指導ご支援を頂きますようお願い申し上げます。理事長就任の挨拶とさせていただきます。

会員各位からの忌憚のないご意見いただき、それを活かして本協会の発展を図りたいと考えますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

町長就任の挨拶

山下博一



この度、新たに上里町長に就任しました山下博一です。町民の皆様から寄せられた多くの期待と信頼を真摯に受け止め、これからの4年間の町政運営に力の限りを尽くしてまいります。

シルバー人材センターの会員の皆様におかれま

しては、日頃より町行政へのご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

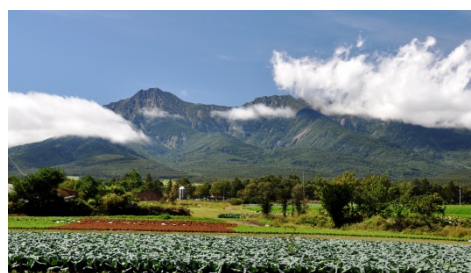
高齢社会を迎え、高齢者の福祉増進を目的とした上里町シルバー人材センターは、高齢者の生きがいのみならず、核家族化の進んだ地域社会に大きな役割を果たしています。

上里町は、ここ数年大型商業施設や上里サービスエリア周辺地区への新たな工場の進出、また、スマートインターチェンジの供用開始など、賑わいの場・雇用が創出され、他市町村からも多くのお客様が訪れるなど、注目されています。

上里町が全国の市町村から「選ばれるまち、住み続けたいまち」になるため、福祉・教育への注力、さら

なる企業誘致活動と若者の雇用促進、町内のインフラ整備など、様々な事業にスピード感を持って取り組んでまいります。

結びに上里町シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。挨拶といたします。



平成二十九年度定期 総会について

六月十六日（土）午前十時から上里町男女共同参画推進センターにおいて公益社団法人上里町シルバー人材センター定期総会が開催されました。多数の会員の参加と、山下町長をはじめ議会議長の新井実様及び高齢者いきいき課長の皆様をお迎えして盛大開催されました。合わせて永年勤続表彰も行われました。



平成30年度 公益社団法人
上里町シルバー人材センター事業計画書
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

当センターは、公益社団法人（平成24年4月1日）としてスタートして、7年目にはいります。この間、シルバー人材センター事業を取り巻く社会経済環境は、厳しい状況が続いておりましたが、平成27年度以降は契約額や会員数等が増え回復の兆しが見られております。平成29年度においても契約額が最低賃金等の上昇や契約件数の増加により増額になっております。また、会員数も前年度に対して僅かながら増加になっている状況です。

本年度においても、この状況を堅持しつつ、更なる増額を目指し事業開拓を行ってまいります。会員数については、町の広報誌、ホームページ、会報等を利用しシルバー人材センターへの理解を図り増員につとめてまいります。

さらに適正な事業運営を確実に進めるために、厚生労働省が作成したガイドラインの周知を行うとともに、労働者派遣事業や生活支援事業にも積極的に取り組んでまいります。

1 基本方針

- 1) 会員の増強とシルバーの理念の浸透を図る
- 2) 会員に適した就業機会の確保・提供を推進する
- 3) 会員に必要な知識、技術、技能の向上を図る
- 4) 会員の安全就業の徹底・強化を図る
- 5) 組織の活性化と運営体制・財政基盤の強化を図る

2 重点目標

- 1) 安全就業の確立
- 2) 就業の拡大（特に女性就業拡大）
- 3) 会員の拡大
- 4) 派遣事業の拡大
- 5) 魅力あるセンターの構築
- 6) 財政基盤の強化
- 7) 組織体制の確立
- 8) 研修の充実
- 9) 広報活動の充実

3 現状と課題

シルバー人材センターは、高齢者に働く機会を提供し、高齢者のいきがいの充実や生活の安定、地域社会の発展や現役世代の下支えなどを推進することを目指しています。一時期、会員数の減少傾向が続いておりましたが、平成27年度に増加に転じた後は、減ったり増えたりが続いている状況となっています。高齢者の就業に対する適性を広く理解してもらい、就業先の拡大とあわせて会員の募集を強化する必要があります。

また、従来からの請負や委任による就業と発注者の指揮命令を受ける派遣による就業などへの取組を行い就業先の拡大確保に努めてまいります。

4 会員数について

平成28年度は11名の減少となりました。平成29年度の3月時点では8名の増加となっています。

定年制の延長や再雇用が企業等に定着しつつあり、会員申込者が65歳以上となることが考えられ、今後の会員募集における課題の1つとなっています。

5 センターの運営について

これから公益社団法人として、より一層の健全性及び透明性を担保する事が求められることとなります。

当センターの運営基盤は、上里町、埼玉県並びに国の補助金による部分もありますが、基盤の安定には、今まで以上に独立した法人として確かな自助努力が求められることとなります。役職員並びに会員が一丸となって地域社会への貢献を指向し、魅力あるセンターの構築を目指します。

6 就業開拓提供事業

公共団体、企業、家庭等に対して、就業機会の開拓を積極的に展開し、会員の希望、知識及び経験に応じた就業と社会奉仕活動の機会の確保に努めます。

受託事業については、高齢者の特性である丁寧で良い仕事をする事と、いずれの就業先でも、就業の基本となる「挨拶」「就業態度」等などの基本的な事項について質の向上を目指します。一方で、広報委員会を中心に、当センター事業と同種の一般企業の事業との違いを明確にし、的を絞った宣伝・訪問活動で地域社会の理解と協力を得ながら就業機会の拡大に向けて取組めます。

また、国庫補助の高齢者活用・現役世代雇用サポート事業に引き続き取り組んで参ります。内容は女性の社会進出の後押し、現役世代の雇用環境の向上のため、育児分野、人手不足分野等の就業機会の開拓・マッチングを図り、女性の活躍の下支えを行

うとともに高齢者の活躍を推進するための取り組みを実施するものです。

平成28年度より介護予防・生活支援サービス事業の家事支援サービス（訪問型サービス A）を町と委託契約を結びました。今後はより一層の事業の拡大に向けて取り組んでまいります。

職業紹介事業については、公益財団法人いきいき埼玉の実施事務所として有料職業紹介を行うとともに、一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）とあわせて就業機会の提供に努めるものとします。

7 普及啓発事業

地域社会に向けてセンター事業を広く宣伝することにより、就業等を通じて社会参加を希望する高齢者に入会の促進を図り、地域社会に理解と協力を求め、就業機会向上の一助とします。

また、ホームページ・シルバーだよりの充実及び「かみさとふれあいまつり」や「さくらまつり」に参加しチラシ等を配布して、より多くの町民にセンターの事業内容を知ってもらうように努めます。

8 研修・講習事業

会員がセンターの事業理念等を理解・賛同すること及び就業・社会奉仕活動等に必要な知識や技能を習得することで、質の高いサービスの提供を実現し、さらに新たな就業機会を確保するため研修・講習事業の充実に努めます。また、外部団体等が実施する研修会にも積極的に参加します。

9 安全対策事業

「事故に会わない、起こさない」をスローガンに掲げて、安全適正就業委員会による安全巡回パトロールや地元警察による交通安全講習会の開催、シルバー連合等による安全対策講習会等に積極的に参加して、事故の撲滅に取り組んで参ります。

職場から事故を無くすため安全衛生講習会を実施し、より高い安全衛生水準の確立を目指します。

10 調査研究事業

会員の就業率の向上、入会者数の増加、発注者に対するサービス内容改善・充実、さらに新たな就業等の活動機会の開拓の方策を調査研究します。

収支予算書

平成 30年 4月 1日 から 平成 31年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	101,400,000	98,050,000	3,350,000
受取配分金	88,000,000	85,000,000	3,000,000
受取材料費等	7,200,000	7,000,000	200,000
受取事務費	6,200,000	6,050,000	150,000
派遣事務手数料収益	700,000	700,000	0
派遣事務手数料収益	700,000	700,000	0
有料職業紹介事務手数料収益	10,000	10,000	0
有料職業紹介事務手数料収益	10,000	10,000	0
介護予防・日常生活支援総合事業収益	720,000	720,000	0
介護予防保険報酬収益	648,000	648,000	0
介護予防利用者負担金収益	72,000	72,000	0
受取会費	276,000	240,000	36,000
正会員受取会費	276,000	240,000	36,000
受取補助金等	10,000,000	10,000,000	0
受取町補助金	5,000,000	5,000,000	0
受取連合交付金	5,000,000	5,000,000	0
特定資産運用益	1,000	1,000	0
特定資産受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	12,000	12,000	0
受取利息	2,000	2,000	0
雑収益	10,000	10,000	0
経常収益計	113,119,000	109,733,000	3,386,000
(2) 経常費用			
事業費	110,625,200	107,039,000	3,586,200
支払配分金	88,576,000	85,576,000	3,000,000
支払材料費等	7,200,000	7,000,000	200,000
給料手当	4,396,000	4,396,000	0
臨時雇賃金	4,898,200	4,254,000	644,200
法定福利費	800,000	740,000	60,000
福利厚生費	18,000	20,000	△ 2,000
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	180,000	185,000	△ 5,000
通信運搬費	350,000	400,000	△ 50,000
減価償却費	577,000	578,000	△ 1,000
什器備品費	10,000	10,000	0
消耗品費	100,000	100,000	0
修繕費	100,000	80,000	20,000
印刷製本費	10,000	30,000	△ 20,000
光熱水料費	280,000	300,000	△ 20,000
賃借料	1,200,000	1,200,000	0
保険料	600,000	700,000	△ 100,000
諸謝金	100,000	200,000	△ 100,000
租税公課	480,000	520,000	△ 40,000
委託費	700,000	700,000	0
支払手数料	30,000	30,000	0
雑費	10,000	10,000	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	2,493,800	2,694,000	△ 200,200
役員報酬	600,000	700,000	△ 100,000
給料手当	364,000	364,000	0
臨時雇賃金	119,800	150,000	△ 30,200
法定福利費	80,000	80,000	0
福利厚生費	1,800	2,000	△ 200
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	10,000	10,000	0
通信運搬費	56,000	57,000	△ 1,000
減価償却費	6,000	6,000	0
什器備品費	10,000	10,000	0
消耗品費	30,000	40,000	△ 10,000
修繕費	10,000	10,000	0
印刷製本費	10,000	10,000	0
光熱水料費	75,000	80,000	△ 5,000
賃借料	300,000	300,000	0
租税公課	10,000	10,000	0
支払負担金	280,000	280,000	0
委託費	500,000	550,000	△ 50,000
支払利息	11,200	15,000	△ 3,800
雑費	10,000	10,000	0
経常費用計	113,119,000	109,733,000	3,386,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	21,677,366	21,677,366	0
一般正味財産期末残高	21,677,366	21,677,366	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	21,677,366	21,677,366	0

さくらまつり開催

平成三十年四月八日に上里町堤調節池運動公園で第五回かみさとさくらまつりが開催されました。上里町商工会、埼玉ひびきの農協、その他多数の出店があり盛況に行われました。音楽演奏、焼きそばやお好み焼きなどおいしい食べ物、農協による上里産野菜の販売など盛りだくさんでした。そんな中上里町シルバー人材センターでは例年どおり、ごみ集積のボランティア活動や会員募集のチラシ配布を実施しました。活動に参加して頂いたシルバー人材センター会員の皆様どうもありがとうございました。



シルバー親睦会総会 開催

六月十六日(土) 上里町男女共同参画推進センターに於いて、上里町シルバー人材センター定期総会後、親睦会総会が開催されました。茂木会長の挨拶の後

以下の項目について議事を行い全て承認して頂きました。

平成二十九年度事業報告

一、平成二十九年度予算実績

一、平成三十年度事業計画

二、平成三十年度予算計画

平成三十年度事業計画についてはいか次の通りです。

一、第九回理事長杯グラ

ンドゴルフ大会・九月二十四日(月・祝)

二、忘年会+スポンポン
でいいん会・十一月

二十三日(土・祝)
三、安心と安らぎを貰う
会 三月日程未定

親睦会員の皆様には開催案内を送りますので参加をお待ちしております。



尚、今回特別会員として
山下新町長に上里町シル
バー人材センター親睦会
に入会して頂きました。ひ
とえに新町長が上里シル
バー人材センターを盛り
上げてゆく思いの一環と
思います。
親睦会に新規申し込み
を希望される方は上里町
シルバー人材センター事
務所まで申し込みくださ
い。



就任の挨拶

石関知子



平成30年1月から事務職員として勤務しております。不慣れなため会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、微力ながら精一杯努力してまいりますので皆様よろしくお願いいたします

配分金の支払日

7月分	8月10日
8月分	9月11日
9月分	10月11日
10月分	11月12日
11月分	12月11日
12月分	1月15日

行事予定

7月	安全委員会・パトロール
8月	11日~15日夏休み
9月	理事会
10月	理事会
11月	かみさとふれあい祭り参加
12月29日~1月4年	年末年始休み

熱中症対策

熱中症の初期症状であるめまいや立ちくらみ、一時的な失神などの熱失神を生じたときには、クーラーの効いた屋内や涼しい日陰で休ませ、衣服を緩めて風通しをよくし、体を冷やして、適切に水分を補給すれば、多くの場合は改善します。しばらく様子を見て、症状が改善しないような場合には、医療機関を受診するのがよいでしょう。但し意識が朦朧としている場合は迷わず救急搬送しましょう。夏場の屋外や熱のこもる室内での活動の際には、こまめに休息と水分補給を行って、熱失神をはじめとする熱中症の予防をこころがけましょう。

《編集後記》

表紙の写真は、上里シルバー人材センターの北にある真言宗豊山派の善台寺に咲く“ぼたん”です。ご住職が丹精込めて育てた“ぼたん”が美しく咲くのを毎年楽しみにしています。参拝者にとって心なごむ“ぼたん寺”ですね。又真言宗豊山派の総本山である奈良の長谷寺は“ぼたん寺”として毎年多大勢の参拝者がおとずれます。